

## 日本語演習

4単位 (選択) 3年 (後期), 4年 (後期)

岸江 信介・教授 / 社会創生学科

【授業目的】日本の一地域においてフィールドワークを行い、調査によって得られたデータの処理の方法として、「方言データベース」「音声データベース」の構築方法について学ぶ。

【授業概要】地域言語研究法とデータ分析方法の習得を目的とする。日本語諸方言の音韻・アクセント・文法・語彙などの特色を把握する。前期後半では、フィールド調査に関する調査票の作成、フィールド調査の方法等について学ぶ。夏期休業中期間等を利用し、フィールドワークを実施する予定である。現段階で調査地域は未定である。ちなみに、10年度は三重県志摩地方に3泊4日の調査に出かけた。調査地域は、受講生の意見を尊重して決める予定である。後期では、エクセル、音声分析などのソフトの操作法を学習しつつ、受講生全体での共同作業として、調査票の整理、データ入力を行ったあと、各調査項目の分担を決め、各自発表を行うことにする。また、年度末には調査報告書を各自が分担して刊行する予定である。

【到達目標】野外での方言調査を通じて、生きた方言に触れる

### 【授業計画】

1. 臨地方言調査の総括と反省
2. データ整理 1.
3. データ整理 2.
4. データ整理 3.
5. データ入力とデータ分析の方法を学ぶ 1.
6. データ入力とデータ分析の方法を学ぶ 2.
7. データ入力とデータ分析の方法を学ぶ 3.
8. 発表の分担の打ち合わせ 1.
9. 発表の分担の打ち合わせ 2.
10. 各自 (各グループ) による研究発表 1
11. 各自 (各グループ) による研究発表 2
12. 各自 (各グループ) による研究発表 3
13. 各自 (各グループ) による研究発表 4
14. 各自 (各グループ) による研究発表 5
15. 全体的にデータを見渡し、特徴的な結果について整理する。
16. レポート等、報告書の作成。

【成績評価】成績評価は、発表 (30%)・レポート (50%)・ソフト等の習得 (20%) といった比率に基づく。フィールド調査には参加すること。調査への参加は出

席点に加える。

【再試験】無

### 【教科書】

- ◇教科書:特に指定しない
- ◇教材:授業でプリントを配布する
- ◇西日本諸方言に関する必要な論文、データベースソフトの操作マニュアル等を授業で紹介したい

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221458>

### 【連絡先】

⇒ 岸江 (088-656-9309, kishie@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL